

2025 年度 4 月入学及び 10 月入学

April 2025 / October 2025 Admission

金沢大学大学院法学研究科

法学・政治学専攻（修士課程）

Graduate School of Law

Division of Law and Politics (Master's Course)

Kanazawa University

## 学生募集要項

Guidelines for Applicants

### 〔日本法教育研究センター一修了者特別選抜〕

The Special Selection

for the Graduates of Research and Education Centers for Japanese Law

(注意)

出願する入学者選抜に関する全ての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

(Note)

The applicant is responsible for confirming all information included in the Guidelines for Applicants for his/her entrance examination category by careful reading.

(自然災害・感染症等に関する本学大学院入学試験における対応)

今後の状況の変化により、急遽、入試実施日、選考方法も含めて変更等が生じる場合があります。  
その場合は、法学研究科法学・政治学専攻 Web サイト (<https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/law-graduate>) でお知らせします。

(Provision of information in the case of unforeseen circumstances due to the Natural Disasters and Infectious Diseases)

Due to future changes in the situation, there may be sudden changes to the entrance exam date and selection method.

Any changes to the examination will be posted on the web site of the Division of Law and Politics(Master's course) in the Graduate school of Law

(<https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/law-graduate>) as needed.



本学の大学院法学研究科は、法学・政治学専攻（修士課程）と法務専攻（専門職学位課程）の2専攻で構成されます。法学・政治学専攻は、法学・政治学領域における基礎的な学術研究能力及び専門的実務能力を備えた、独創性豊かな研究者及び高度専門職業人の養成を、また法務専攻は地域に根差した法曹の養成を目的としています。

法学・政治学専攻には研究コースと高度専門職コースの2コースを設けていますが、日本法教育研究センター修了者特別選抜の合格者は研究コースに配属されます。研究コースには以下の4つのプログラムを設けています。出願時にいずれかのプログラムを選択してください。

### 専攻及びコース・プログラムの編成、授与する学位

※本選抜での志願者は太枠部分が対象

専攻名	コース名	プログラム名	授与する学位 (修士)
法学・政治学	研究	基礎法学 公法学・社会法学 民事法学	法学
		政治学	政治学
	高度専門職		法学 政治学

## 1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

法学・政治学専攻研究コースは、以下の全てを満たす者を求めます。

- (1) 修士論文を作成するために十分な文章読解力、文章作成力を有する者
- (2) 法学・政治学の基本的知識を有する者、又はその他の学問分野の基本的知識を有し、更に法学・政治学の基本的、専門的知識を修得したい者
- (3) 修了後に日本又は海外の博士（後期）課程に進み、博士の学位取得を目指す等、研究を継続したい者

なお、この特別選抜に出願するためには、日本語能力試験N2レベル以上の日本語能力を出願時に有していることが必要です（詳しくは4 出願資格事前審査「事前審査の申請に必要な提出書類一覧」の⑨「語学能力証明書1」の項を確認してください）。

## 2 募集人員 若干名

### 3 出願資格

次の(1)、(2)の全てに該当する者及び2025年3月31日(2025年10月入学希望の場合は2025年9月30日)までに該当する見込みの者としてします。

- (1) 日本法教育研究センターを修了した者
- (2) 次の各号のいずれかに該当する者
  - 1 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者
  - 2 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
  - 3 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
  - 4 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者
  - 5 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
  - 6 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
  - 7 文部科学大臣の指定した者
  - 8 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
  - 9 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
  - 10 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの
  - 11 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

なお、出願時には第1項及び第2項に該当する見込みであったが、2025年3月31日(2025年10月入学希望の場合は2025年9月30日。)時点で第1項及び第2項に該当しない者は、この特別選抜に合格しても本学への入学を認めません。

### 4 出願資格事前審査

全ての志願者は、出願資格事前審査を受けなければなりません。なお、**事前審査は無料**です。

#### (1) 出願資格事前審査の申請に必要な書類、提出方法及び期間

志願者は以下の提出書類(⑥、⑦、⑨の推薦書等を除く。)を全てPDFファイルに変換して、書類提出期間内に書類送付先のEメールアドレス宛に提出してください。

⑥、⑦、⑨の推薦書等は、志願者が推薦人に対して、書類提出期間内に書類送付先Eメールアドレス宛に提出するよう依頼してください。

#### (2) 書類提出期間(推薦書を含む。)

2024年12月11日(水)～20日(金)17時(日本時間)(必着)

#### (3) 書類送付先

(入試・学生募集担当) [n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp)

#### (4) 事前審査の申請に必要な提出書類一覧

出願書類には、パスポート上の氏名（アルファベット）を記入してください。

提出書類	摘要
① 事前審査申請書 (兼入学志願票)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科所定の様式に必要な事項を日本語で記入してください。</li> <li>・確実に連絡が届く E メールアドレスを必ず記入してください。</li> </ul> (注1) 「14 プログラム・専門分野及び担当教員」の表を確認してから、プログラム名、専門分野を記入してください。 (注2) 事前審査申請書(兼入学志願票)の学歴欄について3 出願資格(2)3「外国において学校教育における16年の課程を修了した者」として出願しようとする者は、16年間の学歴がわかるように小学校からの学歴を記入してください。 (注3) また、学歴・職歴の年月、学校名、会社名を正確に記入してください。
② 卒業(見込)証明書	本専攻への出願資格を満たす大学又は大学院の卒業(見込)又は修了(見込)証明書を提出してください。 卒業(予定)年度が記入されていない場合は、大学が発行した卒業(予定)年度が記入されている卒業証書等の提出も必要です。
③ 成績証明書1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学士課程を卒業又は卒業見込の者：学士課程の成績証明書</li> <li>・修士課程を修了又は修了見込の者：学士課程及び修士課程の成績証明書</li> </ul>
④ 学年論文 (提出は任意)	「日本法教育研究センターの3年次に執筆し、名古屋大学に提出した学年論文」をPDFファイルで提出してください。
⑤ 研究計画書	本研究科所定の様式に、入学後の研究計画を日本語で具体的に作成してください。なお、枚数はA4サイズで2頁以内とします(図表などを含む)。
⑥ 推薦書	所属大学等の常勤の教員の推薦書(署名をした推薦書をスキャンし、PDFファイルに変換してください。)を提出してください。 <b>(注) 推薦書は、英語又は日本語で作成したものが必要です。</b>
⑦ 成績証明書2及び内申書	日本法教育研究センターからの成績証明書及び学習に関する内申書(スキャンし、PDFファイルに変換してください。) 出願時に日本法教育センターを修了していない者は、内申書に修了見込の有無を必ず記載してください。
⑧ パスポート(及び日本在留者は在留カード)の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願書類には、この証明書等に記載の氏名を使用してください。</li> <li>・日本に在留している者は、在留カード(表・裏)の写し及びパスポート(国籍、氏名、性別、生年月日が記載されたページ)の写しを提出してください。</li> <li>・日本に在留していない者は、パスポートの写しのみ提出してください。</li> </ul>
⑨ 語学能力証明書1	日本語能力試験(JLPT)のN2レベル以上の日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書、又は志願者がN2レベル以上の日本語能力を有することを確認できる日本法教育研究センター教員による推薦書(署名をした推薦書をスキャンし、PDFファイルに変換してください。) <b>※日本語能力試験は<a href="https://www.jlpt.jp/tw/index.html">https://www.jlpt.jp/tw/index.html</a>を確認してください。</b>
⑩ 語学能力証明書2 (提出は任意)	日本語以外の言語(英語等)の能力に関する証明書
⑪ 在職証明書 ※14条特例適用希望者のみ	本研究科所定の様式により、勤務先の所属長等が作成(在職期間明記)したものを提出してください。

【注】1. 大学又は機関の証明書等には、その大学・機関が発行する英文証明書を添付してください。

2. 本選抜の合格者は②, ③, ⑦, ⑨(日本語能力に関する推薦書を除く。), ⑩, ⑪の原本の提出を求めますので、これらの書類を保管してください。提出期限等の詳細は、合格者発表後に通知します。

なお、⑦の内申書及び⑨の日本語能力証明のための推薦書を日本法教育センターに依頼するにあたり、在籍時の指導教員が既に退職等により不在の場合には、日本法教育研究センター([cale-jimu@law.nagoya-u.ac.jp](mailto:cale-jimu@law.nagoya-u.ac.jp))に相談してください。

3. 事前審査申請書及び研究計画書の作成に関する注意

提出書類用紙は、本研究科のWebサイトに掲載している様式を利用してください。

**法学研究科法学・政治学専攻(修士課程)Webサイト**

[https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/graduate/notice\\_m](https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/graduate/notice_m)



4. 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。

5. 出願書類受理後は、記載事項の変更には応じません。

6. 出願書類等に虚偽の記載又は不正申告をした者及び入学試験において不正な行為を行った事実が判明した

者については、入学許可を取り消すことがあります。その場合、振り込まれた入学料は返還しません。

## (5) 出願資格事前審査の結果通知

2025年1月14日（火）17時（日本時間）までに、申請者にEメールで通知します。

# 5 出願手続

本学の出願は、Web出願システムにより行います。学生募集要項の紙媒体（冊子）での配布は行いません。

## (1) 出願期間

出願資格事前審査の結果発表後、2025年1月21日（火）17時（日本時間）（必着）まで。

## (2) 出願方法

Web出願の流れ



Web出願システムには本学入試情報Webサイトからアクセスできます。

本学トップページ>入試情報・高大院接続>大学院進学>Web出願

以下のURLから出願情報の登録を行ってください。

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet\\_entry](https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry)

なお、Web出願システム上では、出願書類を郵送するよう表示されますが、郵送は不要です。



### 〈注意〉

Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは完了しません。出願期間内に、証明写真のアップロードを済ませ、内容に不備がなかった場合に完了とします。なお、提出書類の確認は、出願期間後に実施しますので、すぐ「完了」扱いとなりません。

## (3) 入学検定料の支払

### ① 入学検定料 30,000円

入学検定料の他に、Web出願システム利用に係るサービス利用料として別途990円が必要です。

国費外国人留学生は、入学検定料の支払は不要です。出願前に、8ページの「13 問合せ先」まで連絡してください。

### ② 支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM（Payeasyでの支払）、クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club）及びネットバンキング（PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）のいずれかで支払可能です。

(注) 1 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報（特にEメールアドレスや電話番号）に間違いがないか確認してください。

2 銀行窓口での支払はできません。

3 コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。

4 クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。

5 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。

ただし、入学検定料の支払後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができます。3月31日（月）までに手続を行ってください。検定料返還手続方法は以下のWebサイトで確認してください。

本学トップページ>入試情報・高大院接続>大学院進学>検定料免除・返還

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryō\\_henkan/](https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryō_henkan/)



#### (4) 証明写真のアップロード

Web出願システムでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	Web出願システムで登録及び入学検定料支払後、登録完了メールに記載のURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 (注) 志願者本人と判別できるもので、 <b>カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近 3ヶ月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータ</b> を使用してください。
---------	---

## 6 受験票の印刷

2025年1月23日（木）から、Web出願システムから受験票の印刷が可能です。「申込確認画面」からログインし、A4サイズで印刷してください。

- (1) 受験上の注意は、1月23日（木）に別途Eメールで通知します。必ずEメールを確認してください。Eメールが届かない場合は、1月28日（火）までに8ページの「13 問合せ先」へ連絡してください。
- (2) 氏名等に間違いがある場合には、「13 問合せ先」まで連絡してください。
- (3) 試験当日は、印刷した「受験票」を必ず持参してください。
- (4) 受験番号は、入学手続きの際にも必要ですので試験終了後も「受験票」は大切に保管してください。

## 7 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査と口述試験により総合して行います。

出願資格を認められ、検定料の支払いを確認できた者に対して、オンラインによる口述試験を行います。

この試験では、研究計画書をふまえて、本専攻での学習・研究のために必要な専門的知識や日本語能力を有しているかを確認します。

また、口述試験は、事前に受験者と教員との間でEメールで日程調整を行った上で、2025年2月1日（土）までに実施します。試験実施までに、Skype、Zoom等のオンライン試験に対応できる通信環境を確保してください。

## 8 合格者発表

2025年2月20日（木）（16時予定）日本時間に、下記Webサイトで発表します。

また、金沢大学（入試情報）Webサイトの「オンライン合否照会システム」から合否の確認をすることができます。合格通知書が必要な場合は「オンライン合否照会システム」からダウンロードしてください（合格通知書は送付しません）。

なお、電話等による合否の照会には応じません。

金沢大学大学院法学研究科法学・政治学専攻（修士課程）Webサイト  
[https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/graduate/notice\\_m](https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/graduate/notice_m)



オンライン合否照会システム

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/onlinegouhisyoukai>



## 9 入学手続

入学手続期間及び手続方法は、4月入学者には2025年2月下旬、10月入学者には2025年8月下旬に「大学院入学手続要項」によりお知らせします。

なお、海外在住の外国人留学生には、合格後に銀行口座残高証明書（残高100万円以上）の提出が求められます（在留資格認定証明書（COE）交付申請のため）。

## 10 授業料等納付金

- (1) 入学料 282,000円(予定)  
(2) 授業料(半期分) 267,900円(予定) (年額 535,800円(予定))

【注】①上記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料・授業料を改定した場合には、改定時から新たな金額を適用します。

②入学料の徴収猶予又は免除は以下のWebサイトで確認してください。

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/exemption\\_grace](https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/exemption_grace)



③授業料の納入は、預金口座振替(届出口座)から指定日に自動引落により納入する方法となります。手続方法は、大学院入学手続要項とともに送付するパンフレット「授業料の納入について」を確認してください。

④授業料免除は、以下のWebサイトで確認してください。

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/tuition\\_waiver/graduate\\_students](https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/tuition_waiver/graduate_students)



- (3) 学生教育研究災害傷害保険料及び外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(インバウンド付帯学総) 5,010円(2年分) ※(2024年度実績) プランによって異なります。

本学では、学生生活における事故等に備え、学生教育研究災害傷害保険(学研災)及び外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(インバウンド付帯学総)の加入を義務付けています。詳細は、留学生オリエンテーションで説明します。

## 11 その他

### (1) 英語外部検定試験の受験

本研究科では英語能力強化の一環として、入学者に対し原則、一定の基準(TOEIC(L&R)600点相当)を満たす英語外部検定試験のスコアの取得を修了要件の1つとしています。受験料は学生の自己負担とします。

以下のいずれかに該当する者は、英語検定試験の受験を免除します。免除されるためには、入学後に「英語検定試験受験免除申請書」を提出し、審査を受ける必要があります。

- ①TOEIC(L&R) 760点, TOEFLiBT 80点, TOEFL-ITP 550点又はIELTS 6.0以上のスコアを持つ者
- ②社会人特別選抜又は短期(1年)在学型選抜により入学した者
- ③英語による選抜試験により入学した者
- ④英語母語話者(一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者)
- ⑤その他研究科長が特に認めた者

### (2) 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度

本研究科では、在職者等必要がある者に対して、大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。この制度を利用することで、法学研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の利用を希望する場合は、入学志願票の14条特例希望欄に☑してください。また、在職証明書(所定の用紙)を提出してください。

参考：大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)「抄」

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

なお、本研究科は昼夜開講制であるため、同基準第2条の2(専ら夜間において教育を行う大学院の課程)には該当しません。

### (3) 標準修業年限

法学研究科法学・政治学専攻（修士課程）の標準修業年限は2年です。ただし、優れた研究業績を上げた者は、1年で修了することが認められる場合があります。

### (4) 長期履修制度

法学研究科法学・政治学専攻（修士課程）では、短期（1年）在学型選抜を除いて、次のとおり標準修業年限を超えて履修を認める特別な制度を設けています。この制度を利用すれば、大学院学則に規定される在学年限の範囲内で、長期履修期間を設定することができます。

#### ①対象となる学生

ア 入学時において社会人有職者であって（臨時雇用を含む）、職務上の事情により著しく学修時間の制約を受ける者

イ 家事、育児、介護等に従事している者で、その事情により著しく学修時間の制約を受ける者

ウ 身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能に障がいがある者

エ その他、本研究科において長期履修学生として認定できると認められる事由がある者

長期履修を希望する者は、入学志願票の長期履修制度希望欄に☑してください。申請しても許可されないこともあります。

#### ②長期履修の期間

法学研究科法学・政治学専攻（修士課程）における長期履修の期間は、3年又は4年とします。

#### ③授業料

標準修業年限（2年）の授業料総額を長期履修として認められた期間に学期ごとに均分して支払うこととなります。

ただし、在学中に授業料が改定された場合は、改定後の授業料の額に基づき再計算されます。

【注】長期履修希望者の申請は、場合によっては許可されないこともあります。

### (5) 心身に障がいのある志願者等の事前相談

心身に障がいがあるため、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、12月9日（月）までに次の書類を「13 問合せ先」まで提出し、相談してください。

ア 出願に伴う事前相談書（次の事項について記載したもの。様式は任意）

①氏名、住所、連絡先、志望コース名又はプログラム名

②障がいの種類、程度

③受験及び修学に配慮を希望する事項

④大学等で配慮されていた事項

⑤日常生活の状況

⑥その他参考となる事項

イ 医師の診断書（写しも可）

ウ その他の参考書類等（障害者手帳の写し等）

### (6) 金沢大学独自の奨学金制度（外国人留学生対象）

金沢大学は外国人留学生を対象として奨学金制度を設けています。

詳しくは、以下のWebサイトで確認してください。

<https://intl-support.w3.kanazawa-u.ac.jp/tuition/>



### (7) 外国人留学生就職促進教育プログラム

#### 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」

日本での就職・キャリアを考えてみませんか。

プログラム履修者のうち、日本企業就職希望者は100%日本企業から内定を獲得しています。

本学では、日本での就職を検討している外国人留学生を対象にビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップを軸とした付加プログラムを展開しています。これにより、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成し、日本就職を支援します。

プログラム説明会は入学時期に応じて4月・10月の年2回行います。日程は入学後に通知しますので、是非出席してください。

なお、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」に係る問合せ先は以下のとおりです。

金沢大学学務部キャリア支援室 〒920-1192 金沢市角間町 TEL (+81)(0)76-264-6045

Link KAGAYAKI Web サイト

<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



Link KAGAYAKI 事務局メール

[kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp)



## 1 2 個人情報の保護

本学では、個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出する書類等に記載されているすべての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内 LAN 利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、  
本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

## 1 3 問合せ先

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）

〒920-1192 石川県金沢市角間町

電話 076-264-5600

E-mail [n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp)

## 1 4 プログラム、専門分野及び担当教員

プログラム	専門分野	担当教員
基礎法学プログラム	法理学	足立 英彦
	日本法制史	丸本由美子
	東洋法制史	中村 正人
	外国法（英米法）	東川 浩二
公法学・社会法学プログラム	憲法	山崎 友也
	行政法	長内 祐樹
	国際法	稲角 光恵
	刑法	永井 善之
	刑事訴訟法	大貝 葵
	労働法	早津 裕貴
	社会保障法	石田 道彦

民事法学プログラム	民法	合田 篤子
	民法	石尾 智久
	民事訴訟法	福本 知行
	商取引法	村上 裕
	経済法	洪 淳康
	知的財産法	大友 信秀
	国際私法・国際取引法	田村 侑也
政治学プログラム	公共政策論	木村 高宏
	地方自治論	本田 哲也
	行政学	河合 晃一
	計量政治学	岡田 浩
	政治思想史	仲正 昌樹
	政治コミュニケーション論	工藤 文

金沢大学大学院法学研究科  
法学・政治学専攻（修士課程）

Division of Law and Politics (Master's Course)  
Graduate School of Law  
Kanazawa University

〔問合せ先〕

**Contact Information**

〒920-1192 石川県金沢市角間町  
金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）

Admission Team, Student Affairs Division, Human and Social  
Administration Department, Kanazawa University

Kakuma-machi, Kanazawa, Ishikawa, 920-1192 Japan

電話(TEL): (+81)(0)76-264-5600

E-mail: [n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp)

金沢大学大学院法学研究科  
法学・政治学専攻（修士課程）Web サイト

Division of Law and Politics (Master's Course)  
Graduate School of Law  
Kanazawa University Website

<https://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/law-graduate>



金沢大学大学院法学研究科法学・政治学専攻(修士課程)  
 日本法教育研究センター修了者特別選抜  
 事前審査申請書(兼入学志願票)

希望する プログラム 専門分野	プログラム※ <input type="checkbox"/> 基礎法学 <input type="checkbox"/> 公法学・社会法学 <input type="checkbox"/> 民事法学 <input type="checkbox"/> 政治学	受験番号	(記入不要)
		専門分野	
※ 希望するプログラムの前にある□を1つだけクリックして、☑に変えてください。 ※募集要項「14 プログラム,専門分野及び担当教員」の表をよく確認してください。 表に書いてあるプログラム名,専門分野を記入してください。			
ふりがな			
氏名 Name in Alphabet			
性別	<input type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女		
生年月日(西暦)	年      月      日		
連絡先 (現住所等)			
	電話：		
	E-mail Address：		
入学希望時期	<input type="checkbox"/> 2025年4月 <input type="checkbox"/> 2025年10月 希望する時期の前にある□を1つだけクリックして、☑に変えてください。		
長期履修希望 14条特例適用希望	<input type="checkbox"/> 長期履修希望 <input type="checkbox"/> 14条特例適用希望		<b>【注】</b> 詳細は, 11(2)及び (4)を確認してください。

注 次頁も必ず記入してください。



# 研究計画書 Research plan

金沢大学大学院法学研究科法学・政治学専攻（修士課程）

Division of Law and Politics (Master's Course) Graduate School of Law, Kanazawa University

プログラム Program	専門分野 Specialized Field	選抜区分 Selection Category 該当する選抜に○を付けてください。 Please circle the selection that applies to you. ・台湾協定校特別選抜 ・日本法教育研究センター修了者特別選抜	
ふりがな Name (in kana)		受験番号 Examination no.	※
氏名 Name (in Kanji /Roman alphabet)			
研究課題: Research Theme			
研究計画 Research Plan			

## 【記入上の注意】

- この枠内で、あなたの研究計画をA4サイズ・2頁以内、日本語で記入してください。  
Please write your research plan within 2 pages, A4 size in Japanese in this frame.
- 著作権を侵害しない限り、説明のために画像などをセル内に貼付しても構いません。  
You may attach some images to this form to illustrate your plan unless you infringe the copyright.
- 記入の際には、以下の要素を組み入れるようにしてください。研究課題の重要性、期待される結果、研究の対象や方法、研究上必要となる設備や資料、研究スケジュール、本専攻を志望する動機など。  
When filling out this form, please include the following elements: the importance of the research project, the expected results, the target and method of the research, the equipment and materials required for the research, the research schedule, the motivation to apply for this division, etc.
- ※印欄は、記入しないでください。  
Do not fill out areas marked with a “※.”

氏名	受験番号※	金沢大学大学院法学研究科 法学・政治学専攻（修士課程）

注 これは2枚目です。

# 在職証明書

下記の者は, \_\_\_\_\_ に在職していることを証明する。

記

氏 名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_

在職期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_

※西暦で記入してください。

西暦 年 月 日

所在地 \_\_\_\_\_

会社名等 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_ (印)